

**第30回 全道ユース(U-18)フットサル選手権大会**  
**兼第6回全日本ユース(U-18)フットサル大会 函館地区予選**  
**開催要項(案) 10月16日版**

- 1 主 旨 北海道のフットサル普及・振興のため、高校生年代のフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として本大会を実施する。併せて、第6回全日本ユース(U-18)フットサル大会函館地区予選を兼ねる。
- 2 名 称 第30回全道ユース(U-18)フットサル選手権大会  
兼第6回全日本ユース(U-18)フットサル大会 函館地区予選
- 3 主 催 函館地区サッカー協会
- 4 主 管 函館地区サッカー協会2種委員会
- 5 期 日 平成30年11月25日(日) 12月1日(土)
- 6 会 場 函館アリーナメインコート(11月25日) (函館市湯川町1-32-2 TEL~0138-57-3141)  
函館大学体育館(12月1日) (函館市高丘町51-1 TEL~0138-57-1181)
- 7 参加資格 (1) フットサルチームの場合  
① (公財)日本サッカー協会に「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。  
② 前項のチームに所属する2001年4月2日以降、2007年4月1日以前に生まれた選手であること。なお、3名を上限に高校3年生(18歳)の選手の参加を認める。男女の性別は問わない。  
③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。  
(2) サッカーの場合  
① (公財)日本サッカー協会に「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。  
② 前項のチームに所属する2001年4月2日以降、2007年4月1日以前に生まれた選手であること。なお、3名を上限に高校3年生(18歳)の選手の参加を認める。男女の性別は問わない。  
③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。  
(3) 選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。  
(4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。  
(5) 下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入を完了すること。  
① フットサルチームの場合 登録料 2,000円  
② サッカーチームの場合 登録料 4,000円
- 8 大会形式 (1) 1グループ3~4チームとして、4グループで予選リーグを行う。  
(2) 昨年度の結果によるシードは行わない。  
(3) 決勝トーナメントは、予選リーグ各グループの1位と2位のチームの8チームによるノックアウト方式で行  
(4) 決勝ラウンドの組み合わせは抽選とする。  
(5) 3位決定戦は行わない。  
(6) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。  
(7) 予選リーグの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。  
① 当該チーム内の対戦成績  
② 当該チーム内の得失点差  
③ 当該チーム内の総得点数  
④ グループ内での総得失点差  
⑤ グループ内での総得点数  
⑥ 下記に基づくポイント合計が少ないチーム  
(ア) 警告1回 1ポイント  
(イ) 警告2回による退場1回 3ポイント  
(ウ) 退場1回 3ポイント  
(エ) 警告1回に続く退場 4ポイント  
⑦ 抽選

- 9 競技規則 大会実施年度、(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。
- 10 競技会規定 以下の項目については、本大会で規定する。
- (1) ピッチサイズは縦40m、横20mとする。
  - (2) 使用球は、フットサル4号ボールとする。(試合球は事務局で4個用意※ミカサ)
  - (3) 競技者の数
    - ・競技者の数：5名
    - ・交代要員の数：7名以内
    - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
  - (4) ベンチに入ることのできる人数は10名以内(交代要員7名、役員3名以内(ただし通訳が試合に登録されている場合は、4名以内とする))とする。
  - (5) ユニフォーム
    - ① フィールドプレイヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショート、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに携行すること。
    - ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
    - ③ フィールドプレイヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインでかつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
    - ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショートにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
    - ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
    - ⑥ ユニフォームの広告掲示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲示料等の経費は当該チームにて負担することとする。
    - ⑦ その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規定(2016年4月1日施行)に測る。ただし、今回の規定で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。
      - 第5条(ユニフォームへの表示)※該当のみ抜粋
        - ・ GKグローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
        - ・ 両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅(10cmから8cmに変更)
        - ・ 同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離
  - (6) 靴
 

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズ及び靴底が着色されたものは使用できない)。
  - (7) ビブス
 

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
  - (8) 試合時間(案)
    - ① 予選リーグ・決勝トーナメント1回戦
 

24分(前後半各12分間)のランニングタイム、ハーフタイムのインターバルは2分間とする。
    - ② 決勝・準決勝
 

18分(前後半各9分)のプレーイングタイム、ハーフタイムのインターバルは3分間とする。
  - (9) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
    - ① 予選リーグは引分けとする。
    - ② 決勝トーナメントにおいて勝敗が決定しない時は、PK方式により勝敗を決定する。
    - ③ 決勝戦においては、6分間(前後半各3分間)のプレーイングタイムの延長戦を行い、決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。
    - ④ 延長戦に入る前のインターバルは2分間とする。
    - ⑤ PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
  - (10) タイムアウトは適用しない。
- 11 懲 罰
- (1) 本大会の予選は、懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で末消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを、除く。
  - (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
  - (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
  - (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、予選リーグ終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
  - (5) 本大会終了時点で末消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。正し、警告の累積によるものを除く。
  - (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

- 12 参加料 参加料12,000円（消費税込み）審判不帯同料4,000円（消費税込み）
- 13 参加申込 (1) 大会参加の有無（参加意思確認書）を平成30年10月29日（月）正午までに、下記事務局までE-mailで連絡すること。
- (2) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員4名とする。
- (3) 参加申込書は、平成30年11月6日（火）正午必着のこと（但し監督会議不参加校のみ）。監督会議に出席する場合は、受付の際に参加料とともに参加申込書（職印を押したものを）を提出すること。また、登録料4,000円も合わせて納入のこと。
- (4) 参加申込書の位置（ポジション）については、FP、GKの用語を使って記入すること。
- (5) 申込方法 同送の参加申込書に必要事項を記入し、職印を押したものを期日までに郵送または持参すること。また、記入済みのデータを下記事務局までE-mailで送信すること。
- 《申込先》  
〒041-0812 函館市昭和1丁目17番1号  
北海道函館商業高等学校内フットサル事務局 水谷 慎 宛  
TEL 0138-41-4248 FAX 0138-41-4250 E-mail : m.makoto@jeans.ocn.ne.jp
- 14 監督会議 平成30年11月6日（火）16:00～ 函館商業高等学校 2階視聴覚室
- 15 組合せ 組合せについては、監督会議時に、実施する。なお、当日欠席の学校については函館地区サッカー協会2種委員会フットサル部の担当が代理抽選する。
- 16 閉会式 12月1日（土）代表決定戦終了後に行い、優勝、準優勝、第3位には函館地区サッカー協会から表彰状を授与する。
- 17 負傷及び事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
- (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
- 18 その他 (1) 選手証等  
各チームの登録選手は、本協会発行の電子登録証の写し（写真が登録されたもの）または、選手証（写真が貼付されたもの）を大会本部に持参すること。登録証または選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。なお、選手証は本大会に申し込まれたチームおよび個人のものであること。電子証（写真貼付）も可とする。
- (2) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。審判については資格保有の各学校顧問が行う。
- (3) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (4) 震災等不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において競技の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (5) ボールはフットサル用認定球とするが、今大会に限り試合球の持ち寄りはない。
- (6) ネックレス・ピアス・ミサンガ・ヘアバンド等の一切の装飾品、茶髪、金髪、鬚は禁止する。
- (7) 眼鏡の着用は原則として認めない。
- (8) 申込後の選手変更は認めない。
- (9) メンバー提出用紙は1試合前の試合開始までに本部に先発FPに○、先発GKに◎、ベンチ選手に△を記して提出すること。
- (10) 優勝チームには、平成31年1月19日（土）～20日（日）札幌市で開催される第30回全道ユース(U-18)フットサル選手権大会兼第6回全日本ユース(U-18)フットサル大会北海道予選への参加を義務付ける。  
※全道大会日程、会場、出場数は、10月29日現在未定です

以上